

いきいき宝木

「心豊かな宝木っ子の育成を目指します」

～ 他を思いやる心や規範意識を育み、基本的な生活習慣や

主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の工夫 ～

(宝木地域学校園教育ビジョン)

1 細谷小学校、西が岡小学校、宝木中学校の3校で構成



児童数 439

学級数 普 15 特支 2

ぬくもりと夢のある 宝木中学校



元気いっぱい

夢いっぱい

笑顔あふれる

西が岡

児童数 356

学級数 普 12 特支 2

生徒数 407

学級数 普 13 特支 2

2 豊かな心の育成

○ 規範意識の育成

- ・ 決まりを守る態度
- ・ マナーを大切にする態度

○ 生命を尊重し、相手を思いやる態度の育成

- ・ 生命や人権を尊重する態度
- ・ 相手を思いやる態度
- ・ 共に支え合う態度

○ 自然、文化、芸術に親しむ感性の育成

- ・ 文化や芸術を愛好する心
- ・ 郷土や自然を愛する心
- ・ 読書に親しむ態度

3 明確なテーマに基づいて活動

(1) 地域学校園運営会議

- ・ 生徒一人一人の、自己肯定感や自己有用感を育てる活動の推進

(2) 学力向上部会

- ・ 学習習慣の育成・徹底

(3) 学校生活支援部会

- ・ 一人一人の心を育てる、児童生徒指導の推進

(4) 健康・体力・食育部会

- ・ 心身ともに健康でたくましい児童生徒の育成

(5) 交流連携部会

- ・ みんなが行きたくなる、活気あふれる学校づくり

③ 平成30年度の活動計画（主な活動を抜粋，一部編集）

(1) 学力向上部会

- ・ 自主学習の奨励：中1の自主学習ノートの使用例を，小6で実践
- ・ ノートの取り方：授業で「めあて」「まとめ」を表示するなどして，授業の1時間の内容がわかるよう，ノートをとることを徹底
- ・ 「自分ならばどうするか」という，道徳的な態度の育成に力を入れ，小学校低学年～中学年は，気持ちを吹き出しにして語らせる工夫を，高学年は役割演技などを取り入れる工夫を，中学校では話し合い活動を取り入れる工夫をする。

(2) 学校生活支援部会

- ・ 地域学校園教職員に，「生活のきまり」の更なる活用を呼び掛ける。
- ・ 小中合同あいさつ運動をとおし，児童生徒の交流を一層深める。
- ・ 小中の特別支援学級の交流をはかる。

（学習情報システムを活用した円滑な情報伝達を継続）

(3) 健康・体力・食育部会

【健康】

- ・ 欠席者情報収集システムを活用し，地域学校園の感染症予防に役立てる。また，データを保健だよりや掲示資料として活用する。

【体力】

- ・ 小学校間で陸上大会の記録等を情報交換する。
- ・ 小学校陸上教室参加児童への，中学生による陸上コーチ。（10月～11月）

【食育】

- ・ お弁当の日に向けて，目標の設定・達成をできるような指導資料の作成をする。
- ・ 地域の食材を共同購入し，同一日に同じ献立の給食を実施する。
- ・ 学校図書館司書と連携し，「お話給食」を実施する。

(4) 交流連携部会

- ・ 小中相互乗り入れ授業の実施
- ・ 地域学校園合同研修会の実施
- ・ 西が岡小学校「音楽朝会」への中学生の派遣

宝木地域学校園 「生活のきまり」

- 明るく大きな声で「あいさつ」や「返事」をしよう。
- 素直に『ありがとう』『ごめんなさい』と言おう。
- 相手の「気持ち」を考えて行動しよう。

④ 地域学校園 4 部会研修会（5/30 に実施されました）



小中の教員が，直接顔を合わせて話し合います。

⑤ 小中相互乗り入れ授業



6/13 細谷小から磯川先生（数学）



6/27 西が岡小から原先生（体育）



6/19 細谷小へ黒崎先生（算数）